

掲載日 2020年6月10日

グローバルセキュアデータ転送サービス Version3.2 のリリース について

【はじめに】

「グローバルセキュアデータ転送サービス」は、データ連携業務において、さらなるお客さまの安心と信頼を得るため、セキュリティ、信頼性、管理面での機能強化を図った Version3.2 を 2020年9月28日にリリースいたします。

追加となる機能の詳細は以下となります。

【1. 新機能】

(1) 日立データセンター接続オプションの追加

データの中継システムを日本国内の日立データセンターに限定できるオプションとなります。

以下のようなユーザーにおすすめです。

- ・重要データのやり取りを、所在を明らかとしないパブリッククラウド経由では不安
- ・データ中継システムがパブリッククラウドでは、社内のクラウドサービス利用審査がなかなか通らない
- ・重要データのやり取りなので、データの所在と責任の所在を一致させたい

(2) スケジュール実行機能を追加

M2Mデータ連携強化を目的に、日次や月次などの決まったデータ転送をスケジュール実行できる機能を追加します。さらに、信頼性が必要なエンタープライズ領域でもご利用いただけるよう以下の機能強化を行います。

・ファイル監視機能

指定したフォルダにファイルを作成すると、指定した時間、宛先に自動ファイル転送が可能となります

・プログラムを、サービスとして常時起動

サービスとしてバックグラウンドでプログラム起動することが可能となります。

ユーザのサインインが不要で、サーバのリポート運用や障害時の切り替えが容易に実現できます。

・警告やエラーなどのイベント情報を、OSのイベントログに連携

イベントログ監視との連携で、プログラム内部の問題にもいち早く対応が可能となります。

(3) プログラム管理機能の強化

各ユーザごとのプログラムバージョンや、オンライン状況、最終アクセス日時を管理システム上で表示できる機能を追加します。システム管理者の管理負荷を大幅に軽減します。

【2. 適用 OS の追加と削除】

Windows10 IoT Enterprise、Windows Server 2019 をサポート対象とします。

Windows8.1 Professional はサポート対象外となります。

【3. 対応ブラウザの追加】

Google Chrome および Microsoft Edge をサポート予定です。

※変更される場合があります

【4. プログラムサポートの終了】

Version3.2 のリリースに合わせて、Version2.2 のサポートの終了が決定しました。

サポート情報の詳細は、ホームページ内の「プログラムサポート情報」でご確認ください。

以上